

平成27年度学校評価について

1 PDFの学校評価について

- ・ 自己評価は、平成27年度の取組等について、教職員が自己評価したものである。
- ・ 生徒評価は、平成27年度の取組等について、生徒が評価したものである。
- ・ 保護者評価は、平成27年度の取組等について、保護者(P T A役員・理事)が評価したものである。

2 学校関係者評価委員会委員の声

- ・ スマホの問題は小中高全てで言われていることである。社会に出てからコミュニケーションに問題が生じているという現実から見ても、生徒たち自身が考える機会を設けていくべきではないか。加治木タイム等、既存の取り組みを積極的に活用してはどうか。
- ・ 技術は日々進歩しているが、一方でアナログ的な発想(知恵)が自分の身を守ってくれるのも事実である。そういうものも大切にしていってほしい。
- ・ あいさつもよい。小学生への思いやりの質も自転車の乗車スキルも学年が上がるごとに上がってきているようだ。好感を持って見ている。
- ・ 加治木高校の人々が目指す「真の加治木高校生」とはどのようなものなのか。行動のあり方など、具体的に示されると分かりやすい。
- ・ 自己評価の「小中高大連携により学力向上の強化を図る」という評価項目は、それぞれの校種の特性上、なかなか難しいのではないかという感想を持っている。
- ・ 大学入試改革に伴う加治木高校の改革を、積極的に進めてほしい。大楠プロジェクト等でしっかり深めてほしい。特に英語は変化が求められている。同窓会としても資金面等援助できることはしていきたい。
- ・ 「地域と関わりをもつ取組の充実を図る」ために、卒業式前の日曜日に1・2年生で駅周辺から学校にかけてゴミ拾いを行ってはどうか。
- ・ 休日に部活動の一環としてゴミ拾いをしている生徒たちを見かける。すがすがしい気持ちになり、大人たちも頑張る気持ちになるので、今後も続けてほしい。
- ・ 土曜授業・大楠プロジェクト等は、高校の変革が求められる今必要なことである。しっかり取り組んでほしい。
- ・ さわやかな生徒が多い。今のまま素直に成長し、進路実現を叶えてほしい。
- ・ 創立120周年に向けて、同窓会としても協力できるところは大いに協力したい。
- ・ 厳しい意見も多いが、PTAとしても協力して一つ一つ解決していけたらと思う。
- ・ 生徒も保護者も満足している人が多いのが事実。自信を持って取り組んでほしい。